

くるめ福祉 7

発行 久留米市社会福祉協議会

「くるめ支え合うプラン」が
完成しました。



INDEX

- 令和元年度 事業報告・決算報告
- 地域いいねMAP
- **くるめ支え合うプラン**
- 中期経営計画
- **コロナにまけない**
- けんけつちゃんコラム

上の絵は、4～5ページで紹介している「くるめ支え合うプラン」の表紙です。

筑後川や市の花であるつつじ、コスモスを囲む人が、久留米餅を身につけていたり、ラーメンを持っていたり、久留米市をイメージして描かれています。

また、子どもから高齢者まで、様々な個性をもつ人々が手をつないでいる絵にすることで、人と人とのつながりで、支え合いの花を育てることを表現しました。

久留米市が支え合いの花でいっぱいになることを目指していきます。

令和元年度

久留米市社会福祉協議会 事業報告

主な取り組みと決算状況をお知らせします。

1 ともに支え合う地域づくり

● 様々な生活支援を重層的に提供できる支え合いの仕組みづくり

保健所や地域包括支援センター、福祉関連事業所等と連携し、支え合い推進会議などで地域資源等の情報把握をするとともに、地域での担い手の確保に向けた協議や運営を支援しました。

● 支え合い推進会議設置の促進

シンポジウムの開催や「支え合い通信」を発行し、活動の周知を図り新たに9校区が加わり全46校区中37校区で設置されました。

● 地域福祉への支援

市内46校区を5ブロックに分け意見交換、課題共有の場となるブロック会議を支援しました。

● いきいきサロンの充実

校区の実情に合わせて助言や支援を行い、新たに23か所のサロンが設置され総数315か所となりました。

● 福祉教育の充実

学校における福祉教育の推進を図るため、福祉協力校29校を指定し、活動補助金の交付・連絡会を開催しました。

● ボランティアに関する情報収集及び発信

ボランティア情報紙を発行し、研修会や助成金に関する情報発信を行いました。また、ボランティア活動への関心を高める目的で、ボランティアアフエステイバルを開催しました。

● ボランティア相談への対応

ボランティアセンターへの来所、電話相談に110件の



ボランティア養成講座 コーヒーボランティアの様子

対応し、75件のマッチングを行いました。

● 災害対応

久留米大学と地域住民等との連携のもと、同大学御井学舎で災害ボランティア設置運営訓練を実施しました。

7月、8月には豪雨による浸水被害が発生したことから、市と協働して災害ボランティア相談窓口を開設。延べ291人のボランティアが26件の日常生活回復の支援をしました。また、災害ボランティアの受付・登録は、SNSを活用し事前登録を開始しました。



災害ボランティア活動の様子

2 包括的な相談体制づくり

● 包括的・総合的な相談体制づくり

寄せられる様々な相談に対応するため、地区民生委員児童委員協議会の会議等にコーディネーターが出席し、ふれあい福祉相談員との連携強化を図りました。

● 自立に向けた総合的支援

日常生活自立支援事業の利用者163名に対して、福祉サービスの利用援助等の提供をしました。また、生活福祉資金の相談者には、自立に向けた助言など総合的支援を行いました。

● 生活困窮者への支援

市内の社会福祉法人が専門性や資源を活かして、支援活動を行う「ライフレスキュー事業」として複雑化した生活困窮世帯5件の支援活動を行いました。

● 成年後見事業の推進

成年後見制度の利用に関する助言など、制度に関する総合相談窓口として、法定後見申立てに関する手続きなどの相談支援のほか、成年後見制度の普及・啓発のための広報など、利用促進に必要な業務を行いました。また、本会が後見人となる法人後見事業を行い、新たに2件を受任しました。

3 地域福祉の推進を担う法人組織づくり

● 人材の育成

コンプライアンスの向上を目指し、情報公開・個人情報保護やクレーム対応等の各種研修会へ参加しました。また、被災地の災害ボランティアセンターへ職員を派遣し、現地で様々な経験をしました。

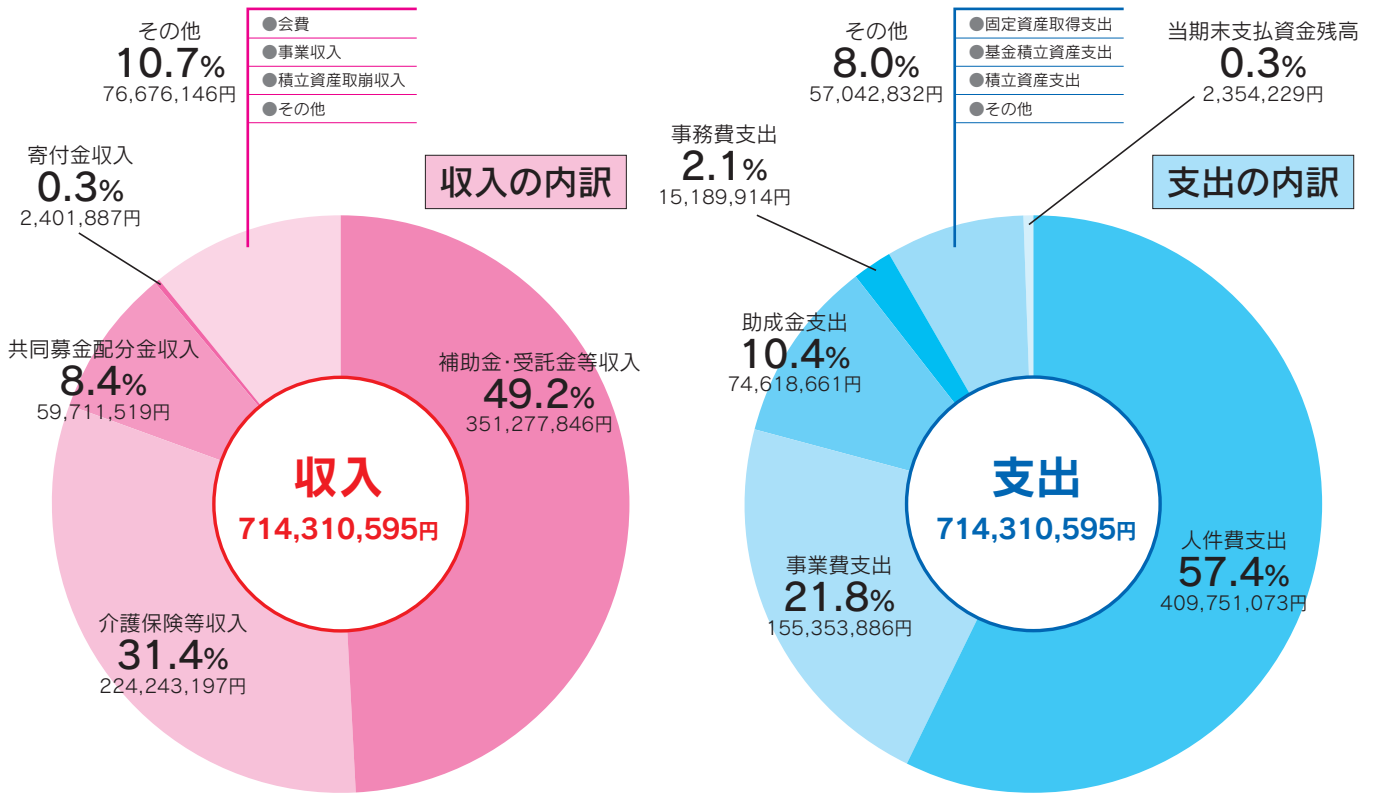
● 広報啓発機能の強化

SNSやくるめ福祉で身近な福祉について広報すること、多世代に向けた福祉への興味・関心の拡大に努めました。



職員で広報紙面について話す様子

令和元年度 決算報告



地域いいねMAPを作成

～これからも生涯、地域の中で人とつながりながら暮らしていきたい～



障害のある子とその親が、地域とつながり、ともに生きることをめざして活動している「輪をつくろう（代表：藤野 薫氏）」という団体があります。平成28年に江南中学校区で障害者・高齢者・子どもなど、誰にとっても「いいね」と思える場所、人にやさしいお店を掲載した“地域いいねMAP（マップ）”をつくりました。

それを見た荒木校区のメンバーが、「荒木校区にも素敵な場所、人にやさしいお店がたくさんある」「自分たちのところでもつくりたい」と、アンケートやおしゃべり会で情報を集め、“地域いいねMAP 荒木版2020”が完成しました。

「子どもが気軽に立ち寄る場所になっている」「高齢者への配達の相談が可能」「気さくな大将がいる」など、お店の特徴がイラストとともに掲載されており、行ってみたいと思える工夫がたくさんあります。

“地域いいねMAP 荒木版2020”は、荒木校区コミュニティセンターや筑邦市民センターなどにありますので、ぜひご覧ください。

問合わせ

- ◆ 輪をつくろう（市手をつなぐ育成会事務局）
TEL/FAX 0942・38・4353
- ◆ 荒木校区輪をつくろう（代表：廣重）
TEL 090・2096・0030



「支え合うところあふれるまち くるめ」をめざして

くるめ支え合うプランが完成しました

期間 令和2年度から令和7年度



取組みの推進

久留米市の特長として、医療施設や社会福祉施設、支援関係機関などが充実し

今回の計画の特徴は、ヒアリングやワークショップ、アンケートなどで地域の現状を把握することから始め、そこから課題を整理し、具体的な取組みを検討したところです。そして、協議会で何度も議論を重ね、住民の皆さんの意見を反映しました。

住民主体で策定

くるめ支え合うプランは、それぞれの地域で人々が安心して暮らせるよう、地域住民や官民の社会福祉関係者が互いに協力して、地域の福祉課題の解決に取り組んでいくための計画です。今回初めて、市の地域福祉計画と市社会福祉協議会の地域福祉活動計画を一体的に策定しました。この計画は、地域住民の皆さんや、様々な分野の関係機関が、世代や分野を超えてつながり、実践されていくことが重要です。そのため、策定にあたっては、こうした様々な分野の人が参加する協議会を開催しました。



協議会で熱心に議論する皆さん

現在も、個別支援と地域づくりは連携して行われていますが、今後、その連携を充実させていくことが必要です。専門職が中心となつて行う個別支援の積み重ねから見えてきた「成果」や「課題」

ていること（個別支援の充実と、ふれあいの会をはじめとする地域のつながりを基盤とする活動や、課題や思いを共有するNPOなどの活動（地域づくりの充実）が活発であることがあげられます。

現在も、個別支援と地域づくりは連携して行われていますが、今後、その連携を充実させていくことが必要です。専門職が中心となつて行う個別支援の積み重ねから見えてきた「成果」や「課題」

地域の皆さんの声から久留米市の課題を見つける



久留米市ならではの課題を把握するため、平成30年度より、市と市社会福祉協議会では、市内5か所でのワークショップや、市民団体・当事者組織など54団体63か所へのヒアリングを行いました。

多くの皆さんにご協力いただき、現在の活動や今後の展望など、様々な声を聞かせていただきました。「困ったときに相談してもらえたい存在になりたい」「自分たちができることを続けていきたい」など前向きな声が聞こえる一方、「後継者がいない」「本当に必要な人に情報が届いていない」など、課題もたくさん挙がりました。

お忙しいなか、ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

また、くるめ支え合うプランの中には、地域福祉につ

いてイメージでき、今後支え合う活動に参加する人が増え、活動が充実するよう、現在行われている多様な活動や取組みを多数紹介しています。

活動のヒントにしていただき、一人ひとりができることから始めてみませんか。



ワークショップの様子

校区によって現状や課題は様々であるため、市社会福祉協議会では、小学校区ごとに地域福祉活動を進めてきました。

今後、それぞれの校区で、くるめ支え合うプランを实际情况に合わせてどう具体化していくか、地域の皆さんと一緒に考え、校区版のくるめ支え合うプランとも言える、校区福祉活動計画の策定を支援します。

校区福祉活動計画を策定する

「傾向」や「予防策」を見出し、地域住民と共有し、地域住民と専門職が一緒に個別支援に取り組むことで、住民の課題を見つづける力、対応する力の向上が図られます。そうした連携が深まることで、課題の深刻化や発生予防にもつながります。

今回の計画では、取組み内容を「地域住民等ができること」「久留米市社会福祉協議会が取り組むこと」「久留米市が取り組むこと」にわけています。

三者それぞれが役割を果たし、互いに協力しながら取り組むことで、人々が安心して暮らしていける久留米市を目指します。

課題に対応する取組み

- ① つながりの構築
- ② 見守り活動の推進
- ③ 誰もが集える場の拡充

- ④ 個別の対応が必要な人への支援
- ⑤ 災害時に支援が必要な人への支援
- ⑥ 権利擁護の推進
- ⑦ 多機関連携の推進
- ⑧ 財源確保の推進

- ⑨ 地域における人材の育成
- ⑩ 地域コミュニティ組織等への支援
- ⑪ 社会福祉法人・学校・事業所等の地域貢献の促進
- ⑫ 福祉人材の養成と資質の向上
- ⑬ 福祉への理解を深める取組みの推進

関係を豊かにする

寄り添う体制を整える

地域をともに創る人を育てる

めざす姿

支え合うところあふれるまち くるめ

久留米市社会福祉協議会「中期経営計画」を策定しました

市社会福祉協議会では、今後の役割及び事業のあり方と実施体制などについての方向性を示し、持続性のある安定的な経営を行うために、本会経営の基本とする中期的な計画と位置づけ、令和2年度～令和7年度までの6年間を計画期間とする「中期経営計画」を策定しました。計画内容については次のとおりです。

1 基本理念

地域共生社会の実現に貢献する

2 基本方針

- ① あらゆる生活課題への対応
- ② 地域のつながりの再構築
- ③ 地域から信頼される組織づくり

3 今後の取組み

主要事業

① 地域福祉活動の推進支援

- ① 「くるめ支え合うプラン」の地域展開
- ② 見守りや支援の対象者を拡大
- ③ コミュニティ組織との新たなネットワーク化
- ④ 興味や関心事を軸として集う市民グループとの連携
- ⑤ 地域福祉を担う人材の育成

② 相談・支援

- ① 組織内の情報を支援活動に活かす
- ② 継続的で柔軟な対応を行っていく
- ③ 地域へのきめ細やかな働きかけ
- ④ 要支援者の情報を速やかに把握する

③ 権利擁護

- ① 法人後見事業
- ② 市民後見人の育成
- ③ 中核機関業務の受託
- ④ 日常生活自立支援事業

④ 在宅福祉サービス

- ① 要介護認定調査業務の整理
- ② 介護保険事業経営の方向性の決定

⑤ 災害への対応

- ① 災害ボランティアセンター運営と本会の業務執行体制の確保
- ② 非常時の支え合い

⑥ 情報の発信・広報

- ① 計画的、効果的な広報
- ② 積極的な情報公開

事務局体制

① 組織

- ① 企画・調整機能の強化
- ② 新たなニーズに対応した組織の見直し

② 職員

- ① 人材の育成

③ 事務事業

- ① 事務事業の見直し

財源

① 財源の確保・活用

- ① 公募事業への参画
- ② 自主財源の確保

※詳しくは、市社会福祉協議会ホームページ
くるめ支え合うプラン・中期経営計画をご覧ください。

<http://www.heartful-volunteer.net/>



コロナにまけない 新しい地域福祉活動をすすめましょう

新型コロナウイルスによる感染症は、一時は極めて緊迫した状況となりました。5月に緊急事態宣言が解除され、それまで中断していた校区社協や地域のボランティアによる地域福祉活動は、6月以降徐々に再開されつつあります。



今後は、国が提唱している「新しい生活様式」に沿いつつ、感染予防対策に十分配慮し、メールや電話、インターネットなどの活用により、接触を避けながらできる声かけや見守り、交流など、みんなでアイデアを出し、新しい地域福祉活動をすすめましょう。

食品寄付でコロナ支援

田主丸町にある酒見食品工業株式会社様(代表:酒見紀宏様)より、社会貢献活動の一環として、白米60キロをいただきました。

また、市と市社会福祉協議会の職員によるフードドライブ活動を2日間実施し、インスタント食品、缶詰、レトルト食品や米などが約265キロ集まりました。

いただいたお米や集まった食品は、お困りの人たちや子ども食堂等にお渡ししました。

市社会福祉協議会では、皆様の家庭で眠っている賞味期限前(1か月以上余裕がある)、未開封食品の寄付を受け付けています。

食品を捨てずに寄付することで、食品ロス削減にもつながります。まずは、ボランティアセンター(0942・34・3035)までご相談ください。



みんなの想いが集まって

新型コロナウイルスの影響により日々の生活が大きく制限をされるなか、困っている人を少しでも支援しようと取組みをされた人たちもいます。

いくつかの校区では、感染予防のためのマスクを自分たちで手作りし、必要な人に届ける活動を工夫しながら実践されました。



日吉校区ふれあいの会による手作りマスク

相談はお早めに 生活福祉資金特例貸付

本会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により生活資金でお悩みの人に向けた、特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の相談窓口を開設しています。お問合わせや貸付のご相談は、下記の専用電話へお願いします。

問合わせ 市社会福祉協議会

専用電話 0942・34・3122
080・1539・3864

受付時間 月～金曜日(祝日を除く)
9:00～16:00

※電話による相談が難しい場合は①お名前②希望する連絡手段(FAX、Eメール等)を記入し、FAX0942・34・3090へ送信してください。

『布マスク』のご寄付をお受けいたします

全世界を対象にした政府による布マスクの配布が行われています。

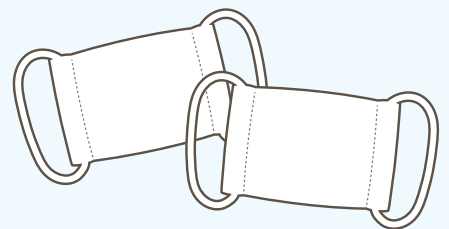
マスク不足問題については、既製品の供給が進み、以前に比べると購入しやすい環境が整ってきておりますが、依然として購入することができずに1枚の布マスクを繰り返し使用している人もいます。そのようななか、『既にマスクを確保できているから寄付したい』との声がありました。そこでボランティアセンターでは布マスクバンクを新設して、布マスクを寄付いただき、地域で福祉活動をしているボランティア団体等にお配りしています。

寄付したいとお考えの方は、ぜひご協力をお願いします。

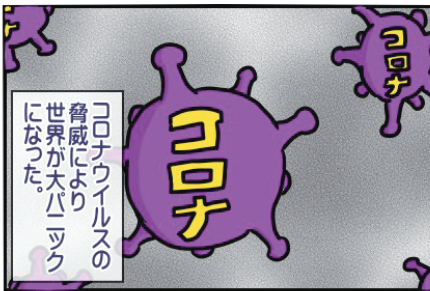
対象となるマスク 政府が全戸配布したマスク(未開封の物)

寄付の方法 市社会福祉協議会ボランティアセンター(長門石1丁目1番34号)宛てに郵送又は市社協及び4支所・みんくる・くるめウスマまでご持参ください。

※郵送費用はご寄付者負担となります。



第四話
コロナからプラスに活かす!! 平本 龍之介



- 高良内校区社会福祉協議会
- 正 会 員**
- 榊 昭人 (莊島町)
 - 渡辺 すみ子 (日吉町)
 - 熊丸 弘一 (梅満町)
 - 石井 千恵子 (津福本町)
 - 執行 初雪 (長門石町)
 - 尋木 洋子 (津福本町)
 - 井上 フチノ (御井町)
 - 古賀 ユイ子 (御井町)
 - 田中 力 (南)
 - 松本 艶子 (東合川町)
 - 大石 マサ子 (太郎原町)
 - 佐藤 フサ子 (宮ノ陣町)
 - 沖本 栄一 (宮ノ陣)
 - 山中 千枝子 (荒木町)

令和2年3月1日から5月31日まで

ご芳志ありがとうございました

寄付者一覧(敬称略)

賛 助 会 員

- 津留崎 千鶴子 (大善寺町)
- 倉富 道有 (田主丸町)
- 平塚 清次 (北野町)
- 古賀 紀子 (北野町)

《 個 人 会 員 》

《 法 人 会 員 》

- たくみの会 (長門石)
- NPO法人権利擁護支援センターふくおかネット (長門石)

社会福祉事業寄付金

宮ノ陣思案橋南自治会 (宮ノ陣)

香典返し寄付金

- 平城 容子(故 博志) (青 峰)
- 山田 茂(故 三原カズミ) (大川市)

市内在住の皆さまへ 災害ボランティア登録を

昨年の豪雨では、久留米市でも市内外を問わず、多くの災害ボランティアの皆さんに被災者支援をしていただきました。今回、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、災害発生時に市外からのボランティア受入れが困難になることが予測されます。市社会福祉協議会では、市内在住の人に、市内で災害が発生した場合に活動していただける、災害ボランティアへの登録をお願いしています。市社会福祉協議会ホームページより登録できます。

皆さまの登録を、ぜひお願いいたします。

こちらより市社会福祉協議会のホームページにアクセスできます。



問合わせ ボランティアセンター(市社会福祉協議会内)
久留米市長門石1丁目1番34号
TEL 0942・34・3035 FAX 0942・34・3090

～お詫びと訂正～

4月15日発行の「くるめ福祉174号」4～5面に掲載しておりました赤い羽根共同募金寄付者一覧にて誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

(敬称略)

【高良内校区】

誤 (株)安納工務店
正 (株)案納工務店

誤 安納鋳金整備工場
正 案納鋳金整備工場

「くるめ福祉」アンケート 次の質問にお答えください。

- 【質問】①どの記事が一番印象に残りましたか？
- ②こんな記事があったらいいなと思うものはありますか？
- ③その他、何かご意見があればお寄せください。

アンケートをお寄せいただいた人の中から抽選で5名様に500円分のクオカードを差し上げます。なお、当選者の発表は、クオカードの発送をもって代えさせていただきます。



【送付締切】8月14日(金)必着
【送付方法】住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、郵便又はメールでお寄せください。
【送付先】(郵 送)〒830-0027 久留米市長門石1丁目1番34号
久留米市社会福祉協議会「くるめ福祉広報係」宛
(メール)題名に「くるめ福祉広報係」と記載
アドレス heartful@kumin.ne.jp

久留米市成年後見センター便り②

市成年後見センターでは、成年後見制度に関する相談などを行っています。特に専門的な相談に関しては毎週木曜日に弁護士相談も行っています。事前にご予約のうえ、お気軽にご相談ください。

【市成年後見センター弁護士が答える、成年後見制度に関する疑問シリーズ】



成年後見人等への報酬や申立て費用を支払えない場合はどうしたらいいのでしょうか？



成年後見制度を利用する際に、経済的な理由で申立てができない場合や成年後見人等に十分に報酬が払えない場合、久留米市では成年後見制度利用支援事業を利用できる場合があります。これは、申立てに必要な切手や収入印

紙、診断書などの費用を補助する「申立て費用補助」と、成年後見人等の報酬を補助する「報酬補助」があります。手続きにあたっては、対象要件や必要書類がありますので、市担当課（長寿支援課または障害者福祉課）へご相談ください。

相談時間 月曜～金曜／8時30分～17時15分（土・日・祝日・年末年始はお休みです。）
相談は無料です。 ※弁護士相談は予約が必要です。

問合わせ

市成年後見センター（市社会福祉協議会内）
TEL0942-30-2732 FAX0942-34-3090

今回の担当弁護士

せいすい
青翠法律事務所
宮崎 智美 弁護士



けんけつちゃんコラム 日々の安定した ご協力が必要です

血液は人工的に作ることができず、長期保存もできません。日本では、毎日約3,000人あまりの患者さんが輸血用血液を必要としているため、日々の安定した献血へのご協力が必要です。

献血会場では、手指消毒や体温測定、資機材の消毒等の感染症対策を徹底しています。安心してお越しください。

また、献血ルームでは、献血される人が一時期に集中することを避けるため、Webサイトや電話でのご予約をお願いしています。



【献血Web会員サービス ラブラッド】 <https://www.kenketsu.jp/>

◆福岡県内献血ルームのご紹介

おっしょい博多 092-476-1400	キャナルシティ 092-272-5853	ハッピークロスイムズ 092-726-1188
博多バスターミナル 8F	キャナルシティビジネス センタービル1F	イムズ8F ※イムズ年間休館日あり
魚町銀天街 093-551-1211	くろさきクローバー 093-644-1211	献血ルームにお越しの際は ご予約をお願いいたします。
白樺ビル ※定休日：第2金曜日	イオンタウン黒崎 1F	

※開所状況は変更になる場合がございます。詳しくは福岡県赤十字血液センターのホームページをご確認いただくか、直接各献血ルームへお電話にてお問い合わせください。
【福岡県赤十字血液センター】
<https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/fukuoka/>



8～10月校区别献血日程予定表

月	校区・地域	日程	場所	受付時間
8	城島地域	6日(木)	城島げんきかん(城島保健福祉センター)	10:00～12:30 13:30～15:30
	篠山	11日(火)	篠山校区コミュニティセンター(予定)	9:30～11:30 12:30～16:00
		12日(水)		
	田主丸地域	21日(金)	田主丸総合支所	10:00～13:00 14:00～15:30
(株)野口機工			9:30～12:00	
JAにじ 田主丸支店			14:00～16:00	
9	長門石	2日(水)	市総合福祉会館 集会室	10:00～12:30 13:30～15:00
	合川	4日(金)	ゆめタウン久留米	10:00～12:00 13:00～16:00
	青峰	11日(金)	青峰校区コミュニティセンター	10:00～12:00
	大善寺	15日(火)	大善寺校区コミュニティセンター	10:00～15:00
	東国分	15日(火)	東国分校区コミュニティセンター	10:00～12:00 13:00～15:00
	山川	30日(木)	山川校区コミュニティセンター	10:00～12:30 13:30～15:00
10	大城	2日(金)	大城ますかげセンター	10:00～12:00
	金島	2日(金)	神代病院	14:00～16:00
	弓削	2日(金)	弓削コスモス館	10:00～12:00
	高良内	8日(木)	コミュニティセンター高良内会館	9:30～12:00
	小森野	8日(木)	小森野校区コミュニティセンター	14:00～16:00
	北野	9日(金)	コスモすまいる北野	10:00～12:00 13:00～15:30

※掲載している日程は変更となる場合があります。詳しくは市社会福祉協議会ホームページ等をご確認ください。

問合わせ

久留米市献血推進協議会(市社会福祉協議会内)
TEL0942-34-3035 FAX0942-34-3090
E-mail/k-syakyo@kumin.ne.jp

